



**ベイタウンの皆様、
新年あけまして
おめでとうございます。
2006 年が
ワン！ダフルな年
でありますように。**

「ベイタウンニュース」恒例の「年男男女女記念撮影」に今年は 30 匹のワンちゃん(!?)が集まりました。どの顔も晴れやかな笑顔。いい年になりそうな予感がします。今年もどうぞよろしくお願いいたします。



今回の最年長者は大正 11 年生まれの榎本さん

3 年ほど前から 8 番街にお住まいであるが、当日は 12 番街の娘さん夫妻と一緒に来られた。

一回り下のシニアの方が「お若いですね!」と驚かれるほど若々しくお洒落な感じで、そういえばよく街の中を散歩されているのをお見かけする。「ベイタウンの中には大抵の店はあるし、勾配もそれほどないので買い物も楽です」という感想で、8 番街の中でも 1 階がご住居という事情もあるが、「段差などで不便を感じることはありません」と穏やかに話された。

春にエリスト入居予定の吉村健さん

江東区から子供の遊べる公園のある環境を求めてパティオス 9 番街に越してきて 3 年。ベイタウンが気に入って、パティオス エリストを購入して、3 月から入居予定とのこと。

「昨年は、家庭や会社でのチームワークを重視した 1 年だった。今年はそれらを集大成する年で、成果を挙げたい。また、自宅購入を機に、自治会等の活動にも参加していきたい。」と抱負を語ってくれた。

ずっと阪神ファンだったが、昨年からはロッテに鞍替え。パレードも見に行った。今年はファンクラブにも入って、家族で応援に行きたいとのことだ。



地域みなさん ご協力ありがとうございました

「海浜打瀬小学校の 2 年生です。お店のことを教えてもらえますか」。「だいすきペイタウン」の学習はこうして始まった。「秘密を探ってきて」という担任の言葉通り、ちょっとしたきしながらインタビューしたり、こっそりと店の奥をのぞき込んだりする子ども達だった。その時のペイタウンは、まさにロッチ優勝セールの真っ直中で、どこのお店も大忙しだったというのに「お店の人は仕事してたのに、やめてくれてインタビューに答えてくれたの」「パン生地さわらせてもらったら、柔らかくていい匂いだったよ」「歯医者さんの手洗いは、ペダルを踏んだら水が出るの、すごいでしょ」等々。

子ども達は地域の方々の積極的な対応に驚きと感謝いっぱい、頬を紅潮させて帰ってきた。そして、子ども達は早速、わかったことを知らせ合う「発表会」に向けて準備を始

めた。発表会も終わり、いよいよ学習はまとめの段階に入った。子ども達は、お世話になったペイタウンの方々にお礼をしたいと言いつ出した。「どうしたら、この気持ちを伝えることができるだろうか」。「手紙を書こうか」。「手作りのプレゼントする?」「お店の窓ふきやお手伝いに行こうか」と、意見は様々だった。話し合いの結果、各自がそれぞれの形でお礼の気持ちを伝えることになった。手紙を書く子、カードを工夫する子、紙粘土でメダルやブローチを製作する子、どの子もみな真剣に取り組んだ。

11 月始め、学校の帰りにみんなで「寄り道」を取行。子ども達がお礼を持って、直接再度訪問した。どこのお店も暖かく迎えていただき、ささやかなお礼の品に優しいお声をかけていただいたことは、子ども達の満足げな顔を見れば一目瞭然であった。

この 2 ヶ月あまりの一連の活動を通して、地域の方々のやさしさと暖かさを痛感した。暖かい言葉かけ、やさしい支援に、こんなすてきな街で、すてきな方々に囲まれて育まれていく子ども達は幸せであると感じた。

この紙面をお借りして、地域の方々のご支援ご協力に心から感謝を申し上げます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

【海浜打瀬小学校 2 年担任：木戸】

はいしゃさんへ

こんにちは。この前は、おいそがしい中ありがとうございました。わたしたちはいろんなことをおしえていただきはっぴょうができました。はいしゃさんに行ったときは、いっぱいひみつをおしえてもらいました。たとえば、足でかべをおすと水が出ました。そういうひみつがわかりました。男の先生がやったときにみんなが「わぁ」とびっくりしていました。そのことをはっぴょうすることができました。はっぴょう会では、はいしゃさんで、いっぱい目で見てもわからないひみつをおしえてもらったことや、へやの絵、魚のえなどをはっぴょうできてうれしかったです。なぜかと言うと、そのえが気に入っているからです。じびかのことであまり時間がなくて、あまりくわしいことは書けませんでした。少しだけ書けました。もうすぐ冬でさむくなりますが、びょういんでのしごと、がんばって下さい。わたしもがんばります。

わたしたちは、はをしっかりみがいて、むしばにならないようにします。

海浜打瀬小 2-4 内田空音（そらね）



1/21
(土)

寺子屋手芸教室
「刺し子ハンカチ」
場所：ペイタウン・コア 和室
時間：午前 9:00 ～ 11:00
募集人数：30 人

費用：100 円

持ってくるもの：穴の大きい針、ハサミ、ものさし、エンピツ

さらし布を二重にして刺し子用の色糸で自由に模様をぬってもらいます。

1/21
(土)

わくわくおはなし会
時間：10:30 ～
会場：ペイタウン・コア
講習室
絵本、紙芝居、ゲームと

今年も楽しいおはなし会を目指しています。

みなさんのご参加お待ちしております。

1/22
(日)

第 36 回
ファツィオリの会
時間：9:30 ～ 11:30
会場：ペイタウン・コア
音楽ホール

コアのホールでの楽器演奏・声楽・合唱など、ご希望者はドシドシお申し込み下さい。非公開での演奏も受け付けています。

連絡先：阿曾 tel&fax 211-0273

メールアドレス kakuhito@mue.biglobe.ne.jp

出演申し込み締め切り：1 月 15 日

1/26
(木)

美浜図書館打瀬分館
冬の親子おはなし会
会場：打瀬公民館（ペイ
タウン・コア）講習室
時間：15:30 ～ 16:00

対象：3 歳から小学生までのお子さんとその保護者

当日公民館コアラウンジにて、15:25 から受け付け開始。パネルシアター、絵本の読み聞かせなどを行います。

問い合わせ：打瀬分館 TEL.272-4646

1/28
(土)

寺子屋工作ランド
竹を削ってお箸を作ろう
時間：9:30 ～
会場：ペイタウン・コア
工芸室

人気の竹細工シリーズ。竹を削って、削って”マイおはし”をつくります。うまく作ったおはしで、ごはんを食べているお友達がたくさんいますよ。

今回は、Who's Who に 初めて小学生が登場。18 番街在住の和田廉士君は海浜打瀬小学校の 5 年生。いつもカメラを持ち歩くその姿を見かけた人も多いのではないかと。【板東】

廉士君は実は前にもペイタウンニュースに登場している。昨年 6 月発行の 97 号のペイタウン祭りの記事（1 面）で、「少年カメラマン現る」として紹介された。それ以来、ペイタウンニュースの配布会にも仲間とともに参加して、頼もしいサポーターとなってくれている。

廉士君がカメラに興味を持ったきっかけは、やはり写真を趣味にしているお父さんのカメラに触れたことだ。最初に持った自分のカメラはインスタントカメラ「チェキ」だった。それ以来、カメラの機械としての面白さとそれから出来上がる写真の面白さに取り付かれた彼は、「ニコン F」、「ニコン FM3」、「ニ



廉士君が自ら選んだお気に入りの作品

コマート EL」など、主にマニュアルの一眼レフカメラを中心にコレクションを広げ、現像も現像キットを用いて自分でやるという本格派だ。ちなみに「ニコン F」は 1959 年製（記者と同じ年生まれ！）で、父親から譲り受けたが、故障してもサービスパーツもないため、今はほとんど使わず大事に保管しているそうだ。

最近彼のコレクションに加わった往年の名器「ニコマート EL」は、なんとヤンマーのおじさんが、いつもカメラを手に現れる少年に、押入れの奥で使わなくなったものをとプレゼントしてくれたものだ。手製のピンホールカメラもコレクションのひとつだ。お父さんの尚（たかし）さんによると「最初は露出や絞りで失敗することも多かった。廉士の写真を見た人からは、『子供ならではの低い視点がいいね』と言われることもある」とか。作品を見せてもらったが、そこにはユニークな視点の写真や、家族を含めて構えない自然体の人々の姿が写し撮られていた。これも少年ならではの効果か。ただしご両親は「いつ撮られているか分からないから油断できない。」と笑っていた。

廉士君は、学校にはなかった「撮影クラブ」



も立ち上げ、10 数人のクラブ員を集めて月 1 回程度のクラブ活動をしている。また、彼の周りにはカメラに興味を持った仲間や弟子も集まってきている。そんな彼に将来の夢を聞いたところ、「カメラの仕事をするかどうかは大人にならないと分からない。子供の心はころころ変わるからね。今は友達と遊んでいるところとか、見た人が喜ぶような写真を撮ることが多いけど、自分の一番撮りたいもの（自分の写真）を探したい。食べ物やお父さんが料理している所の写真を良く撮るよ。これからは、飛行機で外国に行って、祭りとか、例えばエッフェル塔とかの名所とかを撮りたいね。」と語ってくれた。

街で、カメラを携えた彼を見かけたら、「1 枚撮って！」と声をかけてみてはどうか。きっとすてきな写真を撮ってくれることだろう。

公園東の街が親子餅つき大会を開催！

20 年来とも言われる大寒波が日本列島をおおった 12 月 18 日、グランパティオス公園東の街では第二回の「親子餅つき大会」が行われた。この日の千葉市の気温は、最低 2.0℃、最高でも 6.2℃。冬場は陽の当たらない中庭は風も強く、池の水も凍る寒さだ。

発起人の佐藤さんは、前日から準備を進めながら二つの心配をしていた。一つは、この寒さの中、住民が集まってくれるのだろうか。もう一つは、昨年大活躍した二人の餅つき名人が今年は都合で参加できないが、うまく餅がつけるのだろうか。

でも、ふたを開けてみると、昨年の参加者数 180 名には及ばないものの、150 名を越す住民が集まってきた。餅つきのほうも、昨年の名人の技（？）を一生懸命盗み取ろうと見ていた中村さんが大活躍。昨年も頑張って

くれた後藤さんと並んで、餅つき名人に名を連ねた。

ところが、この冬一番の寒さに、アクシデント発生！ 吹き荒ぶ冷たい風がもち米を蒸す蒸籠を凍えさせ、白ひとつ分のもち米を蒸すのに普段の 1.5 倍の時間が掛かってしまったのだ。このため、もちのつき上がりを集会所で待つ調理班は手持ち無沙汰。やっと蒸しが終わり、白に入れてつき始めると、子ども達も寒さも忘れて白の周りに集まり、「ヨイショ、ヨイショ」の掛け声で応援する。

普段は中庭の植栽をメンテナンスしてくれている「花の会」メンバー及び奥様方や子ども達の協力もあり、つきたてのお餅が手際よく、あん餅・きなこ餅・海苔餅・納豆餅・からみ（大根おろし）餅・雑煮の 6 種類になっていく様に、子ども達も大喜び！つきたて

のおいしさは格別のように、いっぱい食べて、「うちの子はお餅は嫌いだったはずなのに」とお母さんを驚かせた子どももいました。

佐藤さんがこの餅つきの会を始めたのは、この街に住む住民同士の触れ合いの機会を増やし、住み良い街作りを目指すだけでなく、親子の触れ合いを深め、ここで育つ子供たちに、この街を故郷と思えるような体験を少しでもしてもらいたいとの願いからだった。また、参加してくれた方はただの「お客様」ではなく、出来る限り作業に参加していただき、杵を振ったり、餅を丸めたりと、一緒に楽しんでいただくことにもこだわった。そして、まさにその願い通りのイベントになった。

最後に、食べ切れなかったお餅で作った鏡餅を東の街 1 番館のプロムナードに面したホールに飾っています。年明けには鏡開きを行い、楽しかった餅つきの思い出を振りかえりながらお汁粉に舌鼓をうつ予定です。

【YUZO：伊藤祐造、GPW 在住】



発起人の佐藤さん（中央）と、今年の餅つき名人の後藤さん（右）・中村さん（左）

打瀬小学校 5 年生の「福祉マップ」

打瀬小学校では総合的な学習の一環として、5 年生が「福祉」をテーマに学習している。「道具」「点字」「交流会」「盲導犬」「手話」「体験」「インタビュー」「介助犬」「チョボラ」(ちょっとボランティアの意味だそう)「福祉マップづくり」などのグループに分かれ、福祉という大きなテーマをそれぞれの方法で調べ、まとめる学習だ。5 年生の総合的な学習とはどんな学習か。「福祉マップづくり」グループの街あるきに同行した。【松村】

「アッ、いたい!」。黄色い大きなゴーグルをつけた小学生が番街エントランスのガラスにぶつかり、声をあげる。周りにいる同学年の子ども達にはしばらく何が起こったのか理解できない。ゴーグルをつけて歩いていたのは、「福祉マップづくり」グループ 6 人(山田君、今井君、西村君、大庭君、前野さん、武田さん)のリーダー「山田朝太郎」君。シニアになったらどれほど不自由になるかを体験するためゴーグル、つえ、手足につける重りという「シニア体験セット」をつけてペイタウンを歩き、気が付いたことをマップに記していく。ゴーグルは老人性白内障になったときの「見えにくさ」を体験するためのもので、エントランスのガラスにぶつかったのはガラスがあることが分らず、通り抜けようとしてぶつかったものだ。

日頃何気なく歩く街も、体験セットを着用すると全く違って見える。重厚なつくりで人気のある番街のドアも、重りを付けた手足で

は重くて開けられない。シニアには優しいとは言えないようだ。他にもいろいろある。銀行の ATM や商店の値段の表示に最近液晶やタッチパネルが使われるが、これが意外に見えにくい。また、ペイタウンの石畳のような歩道のちょっとした浮き石も足が上らないシニアにはつまづく原因になる。こんな風にシニア体験セットを交代で使い、セットをつけたメンバーが気が付いたことを他のメンバーがノートに記録していく。プロムナード周辺を歩いて情報を集めるが、与えられた約 40 分の時間はすぐに過ぎてしまった。

総合的な学習の時間の大半は情報調べや集めた情報の整理に使われる。今回の街あるきでも、場当たりの情報を集めるのではなく、事前に下調べをして街あるきをしていたようだ。ドアが重いことや ATM が見えにくいことなどは、あらかじめ調べていた様子だった。

子どもたちはこの日調べたことなどをまとめ、2/18 にアリーナで行われる「チャレン



ジフェスタ」で発表する。総合的な学習では「発表」する力も情報発信力として重視されている。この日は 3 年生以上の全学年が、1 年間かけて行った総合的な学習の総仕上げとしてグループごとに発表を行うことになっており、打瀬小学校のユニークな学習のひとつ、6 年生による「卒業論文」の発表も行われる。

B

-

I

n

f

o

r

m

a

t

i

o

n

ウラディーミル・スヴェルドルフ、高木竜馬ジョイントリサイタル

コア研(コミュニティ・コア研究会)によると、2006 年 2/12 (日) コア音楽ホールで、ウラディーミル・スヴェルドルフ氏と高木竜馬氏とのジョイントリサイタルが行われることが決まった。当日は 2 人のピアノ演奏の他、エレナ・アシュケナージ女史による公開レッスン「マスタークラス in CHIBA」も行われる。

ウラディーミル・スヴェルドルフ氏はエレナ・アシュケナージ女史の子息。現 NHK 交響楽団音楽監督「ウラディーミル・アシュケナージ」氏の甥にあたり現在 29 歳。ショパンコンクールなど数々のコンクールで高い評価を受け、現在はハノーバーを中心に活動している。エレナアシュケナージ女史はウラディーミル・アシュケナージ氏の実妹であり、ご自身も世界的なピアニスト。

このリサイタルは昨年 9 月にコアで演奏会を開いた高木竜馬氏の師であるエレナ・アシュケナージ女史と、そのご子息スヴェルドルフ氏が高木氏よりコアのピアノ「ファツィオリ」のことを聞き、ファツィオリのある市民管理の「ペイタウン・コア音楽ホール」に関心をもったことがきっかけ。スヴェルドルフ氏はファツィオリを世界一のピアノと絶賛しており、今

回のリサイタルでも特別にショパンのソナタ 2 曲を演奏する。

同時に行われるエレナ・アシュケナージ女史による公開レッスン「マスタークラス in CHIBA」は、ショパンコンクールなど世界のコンクールに挑戦する若手が全国から集まり、ロシア・メソッドによるレッスンが公開される。



ウラディーミル・スヴェルドルフ、高木竜馬 ジョイントリサイタル

日時：平成 18 年 2 月 12 日 (日)

開場：13:30 開演：14:00

(公開レッスンは午前 10:30 開始、20:30 までリサイタルをはさんで行われます)。

場所：ペイタウン・コア音楽ホール

チケット入場料

- 公開レッスンとリサイタル、両方を聴けるもの：2,000 円 (大人)、1000 円 (中学生以下)
- リサイタルだけのチケット：1,500 円 (大人)

プログラムやチケット販売など詳細は 1/12 掲示予定のポスターをご覧ください。

今年もペイタウンニュースをよろしく願います。

昨年はペイタウンニュースの発行にみなさまのご協力をいただきありがとうございました。みなさまの力で 1 年間 12 号を無事に発行することができました。今年も毎月第一土曜日の配布の会と、ニュースへの情報提供をよろしく願います。

ペイタウンニュース編集部員一同

2nd Concert produced by Fairies “Smile”

12/11（日）コア 音楽ホールで行われたコンサートの出演者はFairies（フェアリーズ）、打瀬中学校生、幼稚園児・保育園児で総勢 110 名あまり。この日ホールは若々しい歌声であふれていました。

【金】

曲目：【シューベルト】野ばら・セレナーデ・軍隊行進曲・子守歌【クリスマスソング】赤鼻のトナカイ・あわてんぼうのサンタクロース

【打瀬中学校生】心の瞳・その他

【エンジョイ シンキング】EXIT・僕が一番欲しかったもの

【2 部で歌った曲】

Good Morning・Keep Smiling・Yu Me 日和・Smile Again・Across The Road



ベイタウンの年末を彩った 音楽シーン 2005

ウィンター・コンサート 第 10 回ベイタウン音楽会



写真上段 / フェアリーズのみなさん。中段左 / 「野ばら」でソプラノの歌声を披露した則松亜海さん(打瀬中学 2 年生)。中段右 / 「EXIT」を熱唱する高校生の永木拓弥さん。下段 / 幼稚園児・保育園児の皆さん



12 月 23 日（金）、コアの音楽ホールでは、午後 2 時から始まって終わったのは 7 時半過ぎ、なんと 5 時間半におよぶコンサートが行われていました。出演者は、音楽を始めたばかりのお子さんからプロのアーティストまで、ベイタウンの実に多彩なアーティストたちです。聴衆も街の人なら、主催者・スタッフもみんな街の住人です。

主催の「ベイタウン音楽愛好会」は、コアにコンサートピアノを入れようという住民の活動のなかで知り合ったピアノの先生たちと音楽を愛する人たちが集まって平成 14 年に発足しました。

「一生懸命活動してやっと入れることができたファツィオリは、個人では使わせてもらえませんでした。どうすれば街の人たちが使えるだろうと考えてこの会を発足させました。年に 2～3 回のコンサートを開催しているほか、月 1 回ファツィオリとホールを開放する時間を設けて、みなさんに音楽を感じて楽しんでいただいています」（大垣真利子さん談）ファツィオリで「ネコ踏んじやった」を弾いて大満足！ というのも楽しみ方のひとつだとか。非公開もあり、ピアノを弾かなくてもいいのだそう。

大垣さん自身はピアノを弾くよりもパソコンを打っている時間が多かったり、ピアノも持ち上げるなどの力仕事を引き受けたりと予想外のことばかり。いっばうで今までつながりのなかった他のピアノの先生や音楽好きな人たちといった「街の音楽仲間」ができたのも、うれしい予想外の出来事。コンサートのこの日も、仲間たちは大活躍。第 10 回も大きな温かい拍手のうちに無事終了しました。

【写真 / 隅山雄介さん 取材 / 佐藤】

BAYTOWN BUS

私達が担当しています。

前田多聞 (まえだ たもん)

S 46年8月 獅子座 O型

【性 格】すぐ忘れるおめでたい性格

【心がけ】無事に一日を終える

【ペット】日本猫キジトラ白 (こゆき)



石瀧大輔 (いしたき だいすけ)

S 52年5月 牡牛座 A型

【性 格】神経質・几帳面

【心がけ】快適な運行

【趣 味】UFOキャッチャー車内の
ぬいぐるみは僕の仕業

後藤信明 (ごとう のぶあき)

S 51年2月 水瓶座 A型

【性 格】おちゃめなのんびり屋さん

【心がけ】安心して乗ってもらう

【ペット】ネオンテトラ120匹



松尾昌哉 (まつお まさや)

S 53年2月 魚座 O型

【性 格】のんびり屋

【心がけ】日々向上

【趣 味】ドライブ

木村 光 (きむら ひかる)

S 44年6月 双子座 A型

【性 格】のびのび、朗らか

【心がけ】気持ちがいい安全運転

【ペット】犬ラブラドル (きなこ)



岩井憲克 (いわい のりかつ)

S 48年10月 天秤座 A型

【性 格】内気でやさしい

【心がけ】乗り心地のいいバス

【趣 味】初期ガンダムおたく

中村敏章 (なかむら としあき)

S 24年11月 サソリ座 B型

【性 格】明朗快活

【心がけ】健康管理

【趣 味】落語鑑賞



ご利用のお客様へ

- 定時運行維持のため、あらかじめ
運賃のご用意をお願いいたします。
- お子様の道路への飛び出しはしないよう
お願いいたします。
- 安全運転及び乗降維持のためバス停付近の
路上駐車はご遠慮下さい。

お客様サービスセンター

フリーダイヤル: 0120-600-366